



令和2年9月18日(金)



体育大会実施！

本日は体育大会が行われました。朝から小雨が降り続き天候が心配されましたが、何とかすべての競技を終えることができました。開会式は簡素化した形になりましたが、生徒会の生徒中心にしっかり運営されていました。1年生にとってははじめての体育大会、どの競技も上級生の力強さを感じながらも上位に入賞するなど、今体育大会のテーマ「粉骨砕身 ～コロナ、砕け散るまで～」に沿った56回生らしい戦いを見せてくれました。思い起こせば、4、5月は臨時休業で自宅待機を余儀なくされました。6月の分散登校からはじまり、with コロナという様々な制約の中での生活ではじめて迎えたクラス行事、生徒たちは様々な思いをこの体育大会で体現したのだと思っています。培ったクラスの絆やそこから見えてきたクラスの課題もあるかもしれませんがこれを糧に次の行事にも活かしてください。

農業経営科



早くから大縄跳びの練習に取り組み、優勝したい！楽しみたい！という熱い思いが毎日きこえてきました。最後の最後までみんなで悩んだクラス旗、その思いや意気込みが3位入賞を呼び寄せたのだと思います。入賞したこともよかったですが、最後まで1Mらしさを貫いて作成したことがよかったと思います。女子100Mの優勝の瞬間も間近で見ることができ、感動しました。また、応援の部があれば絶対1位だと思います。

園芸科



毎日、毎日最終下校時刻ギリギリまで旗づくりに取り組んでいた園芸科。花びらで飾り付けをしたり学科の色やクラスの明るい雰囲気がこのクラス旗にもあらわれています。女子クラス対抗リレーでは何と3チームも決勝に残るなど快挙といっても言い切れない感動を与えてくれました。チーム編成や走順を工夫したり、LHRの時間にバトンパスの練習を地道に行ってきた成果だと思います。リレーという競技がただ、速く走ればいいということではないことを教えてくれました。

畜産科



LHRの大縄跳びの練習で黙々と飛んでいる姿を見てZは「心を無にして跳んでいます」ときいてそういう跳び方もあるのかと思いました。結果、大縄跳びは全校で1位でした。本番も跳んでいる生徒も見守る生徒も縄1点をみつめ集中力の高さを感じました。

スウェーデンリレーでの優勝、最後までドキドキしましたが、その分、ゴールテープを切った瞬間の喜びは格別でした。

